

区民ギャラリー「ふれあいやましな賞」受賞作品 山科義士まつり写真コンクール入賞作品決定 たくさんのご応募、ありがとうございました

問合せ 区まちづくり推進担当 (☎592-3088)

〈受賞作品展示場所・期間〉

内 容	日 時	場 所
一般の部 入賞作品	～3月26日(木)まで 午前9時～午後7時 ※休館日(火曜日)を除く	東部文化会館 ギャラリーエコム
中学生以下の部 入賞作品	～3月26日(木)まで	アートロード柳辻 (地下鉄「柳辻」駅構内)

ふれあい “やましな” 2020 区民ふれあい文化祭 区民ギャラリー「ふれあいやましな賞」受賞作品

一般の部



絵画
「サイタ・サイタ」
河内 美智子 さん

書道
「小野小町」
川島 博子 さん



その他
「プルトップ“2371”」
佐賀 明美 さん



絵画
「せんせいあのねたんじょうびに
プールへいったよ」
百々小学校1年
山口 煌太 さん

書道
「初雪銀世界」
山科中学校3年
池田 真梨 さん



絵画
「だるま」
すみれ幼稚園3歳児
杉野 心花 さん

第45 回山科義士まつり 写真コンクール入賞作品

山科義士まつり 実行委員会会長賞



「心もちをつに」
岩崎 泰大 さん

山科区長賞



「少年忠臣蔵」
舟山 周 さん

大石神社賞



「夜明けに響くときの声」
居原田 晃嘉 さん

京都新聞賞



「歴史を繋ぐ」
桑原 秀樹 さん

入選



「父子と桜」
舟山 周 さん



「秋色に染まる毘沙門堂」
加藤 誠司 さん



「勝ち鬨見学」
加藤 雅樹 さん



「刀に誓って」
椎野 邦明 さん



「イマドキ遥泉院」
森 高広 さん

問合せ 区総務・防災担当 (☎592-3066)

「この市では、清水焼をメインに、木工や彫金などの手仕事によるクラフトを展示販売しています。緑の美しい清水沿いを散歩しながら、職人や作家が作った器や作品にふれていただけます。」
ご主人が清水焼の職人という中村さん。結婚して住むことになった山科が、実は清水焼の産地だということが、なかなか知られていないのが残念だったとのこと。清水焼団地では盛大な陶器市が行われますが、もっと身近に器を手にとれる機会があれば、と考えている時に出会ったのが、清水沿いで里山保全活動が行われている「みささぎの森」です。ボランティアにより維持されている里山と、その麓を静かに流れる清水の空間に魅了された中村さんは、仲間とここで市をすることにしました。美しい緑に囲まれ、時間がゆっくり流れているようなこの空間なら、単なる展示販売だけでなく、職人や作家の思いがお客様に伝わるような市ができるのでは、と。

平成29年の秋、清水に隣接する「みささぎの森」の中で初の市を試行開催し、翌年の春、ついに清水沿いの緑地公園に会場を広げ開催。クラフトを中心とした市は若い世代に人気ですが、ここでは散歩のついでに覗いてくれる方が多く、老若男女幅広い層が訪れたそうです。回を重ねるうちに、レジャーシート持参でくつろぐお客様も増え、ゆったりと楽しめるのがこの市の特徴のようです。

こだわりのポイントをお聞きしました。「独立したばかりの若手作家や職人まで、様々な方に来店してもらっています。手仕事が好きなのためにワークショップも開催するなど、作り手と買い手を結ぶ場になるよう試行錯誤しています。」当初は春秋の年2回開催でしたが、秋はたくさんあるイベントを避けると晩秋になってしまいうので、今後は春の暖かい時期のみに開催する予定です。

次回の開催は4月26日(日)。「清水沿いは素敵どころ。散歩ついでに清水焼やクラフトをお楽しみください。」と中村さん。清水を通り抜ける風を感じながら、ゆっくり市で過ごしてみたいかですか。



山科疎水沿いの緑地公園は、桜や紅葉のシーズンはもちろん、四季を通じて散歩の人が訪れる緑あふれる空間。その清水沿いの御陵エリアで開催されている「山科森の見世棚市」をご紹介します。

市を実施する運営委員会代表の中村さんにお話を伺いました。

第66回
みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう！
区民活動きずなリレー
山科疎水の緑のもと、清水焼やクラフトを楽しんで
山科森の見世棚市

〈開催情報〉

日時 4月26日(日)午前10時～午後4時
場所 みささぎの森・東山自然緑地
問合せ koyori.kyoto@gmail.com